

(3) 学童・思春期の健康の現状

1) 健康状態の現状

①学童思春期の死亡原因

不慮の事故による死亡は、平成20年に1件みられます。

不慮の事故による死亡(人口動態統計)

	平成19年	平成20年	平成21年
不慮の事故による死亡件数	0	1	0

②事故による受診件数

事故による受診件数は、その他の損傷が最も多く、次いで骨折となっています。頭蓋内損傷は5～9歳で1件、10～14歳で1件、15～19歳で2件となっています。

事故の受診件数(平成22年5月～平成23年4月)

	骨折	頭蓋内損傷	その他の損傷
5-9歳	9	1	37
10-14歳	24	1	37
15-19歳	18	2	45

③年齢別疾患別受診件数

医療費の疾患別順位をみると、男女ともに5～14歳では、う蝕が1位となっています。

男児の医療費の疾患別順位(国民健康保険平成22年5月診療分)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5-9歳	う蝕 102件	喘息 87件	歯の支持組織 54件	その他の上気道 52件	皮膚炎と湿疹 41件
10-14歳	う蝕 49件	喘息 44件	その他の損傷 32件	歯周疾患 21件	アレルギー性鼻炎・ 歯の支持組織 19件
15-19歳	その他の損傷 31件	皮膚炎と湿疹 19件	屈折調整障害・ 歯の支持組織 17件	その他眼疾患 16件	歯周疾患 15件

女兒の医療費の疾患別順位(国民健康保険平成22年5月診療分)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5-9歳	う蝕 82件	喘息 72件	歯の支持組織 50件	その他の上気道 43件	咽頭扁桃炎 33件
10-14歳	う蝕 39件	皮膚炎と湿疹 32件	歯の支持組織 30件	歯周疾患 29件	喘息・その他の 損傷 22件
15-19歳	歯の支持組織 37件	屈折調整障害・う蝕 32件	歯周疾患 28件	皮膚炎と湿疹 23件	その他の上気道 17件

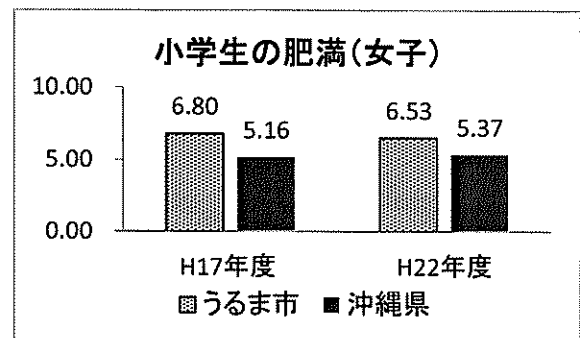
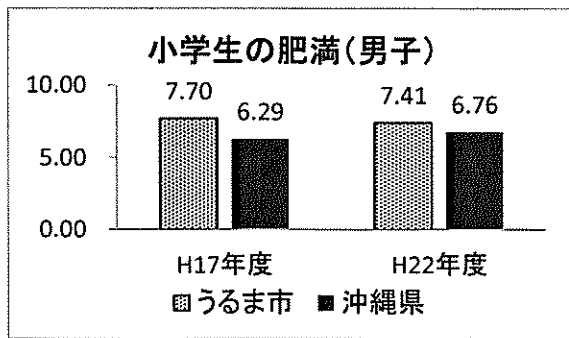
医療費の順位をみると、第1位がその他のがん、第2位がう蝕、第3位がてんかんと続いています。

医療費順位 学童・思春期:5歳～19歳(国民健康保険平成22年5月診療分)

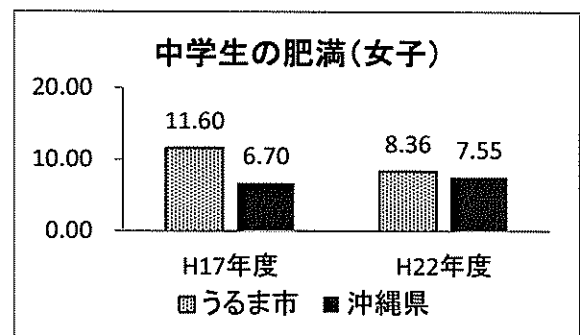
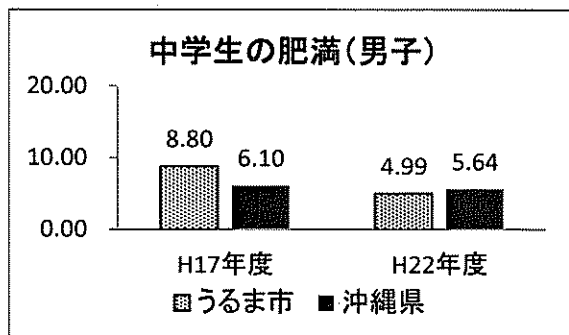
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
疾患名	その他のがん	う蝕	てんかん	喘息	歯の支持組織
件数	22	318	23	255	207
金額(円)	364,144	277,550	277,274	237,235	229,500

④肥満率（学校保健統計調査）

平成22年度のうるま市の小学生の肥満の割合は、男子7.41%、女子6.53%とそれぞれ県（男子6.76%、女子5.37%）に比べ高くなっています。平成17年度と比較すると肥満の割合は男女とも低下しています。



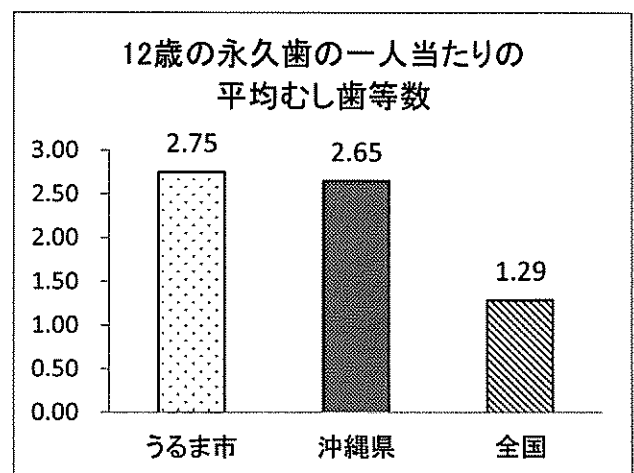
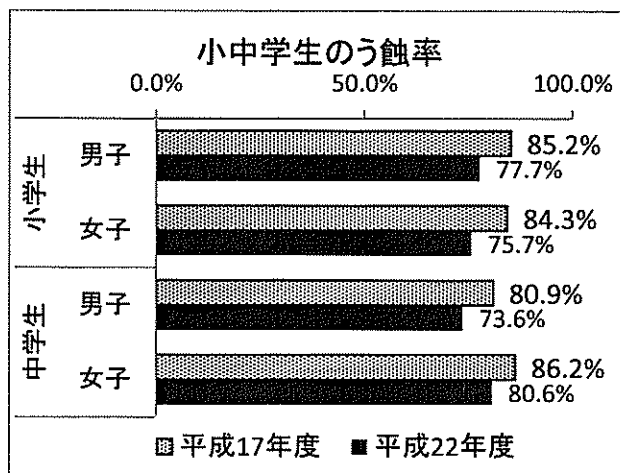
中学生の肥満割合は、男子は4.99%で県（5.64%）より低いものの、女子は8.36%で県（7.55%）より高くなっています。



⑤う蝕率（学校保健統計調査）

平成22年度の小学生のう蝕率は男子77.7%、女子75.7%であり、県平均(77.8%、75.8%)と差はありませんが、全国（61.3%、57.9%）に比べ高くなっています。

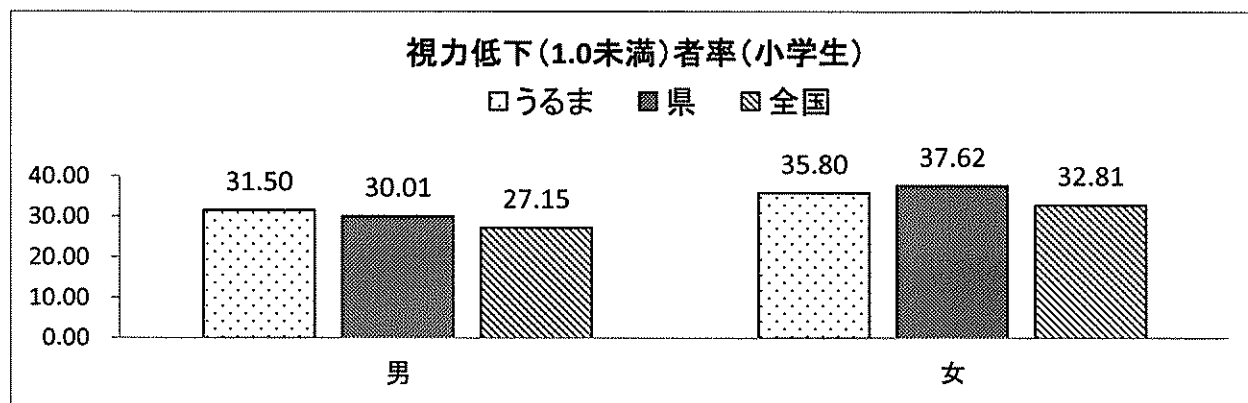
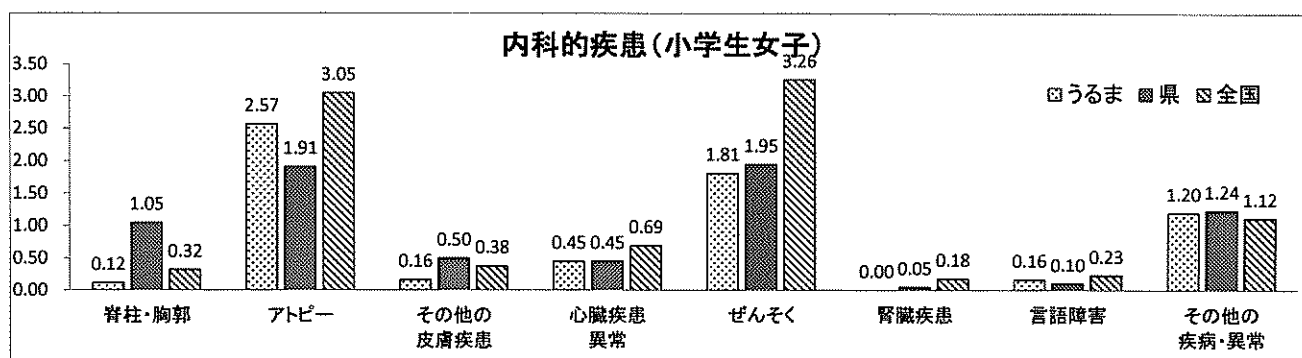
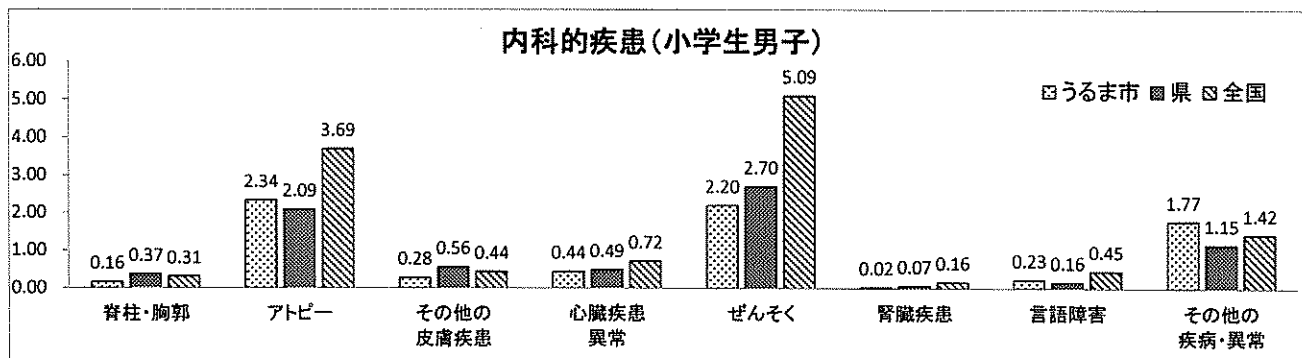
12歳の永久歯の一人当たりの平均虫歯数は、沖縄県及び全国に比べて高く2.75本となっています。



⑥学校健診状況

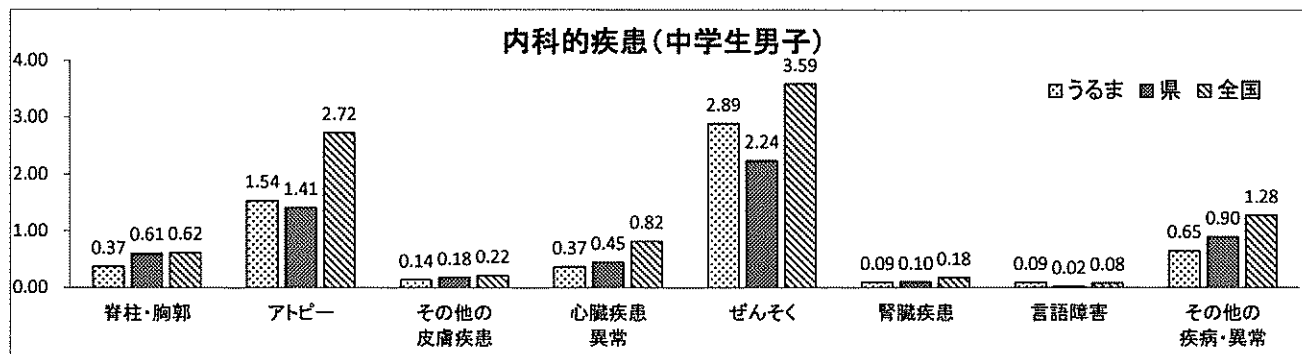
ア小学生

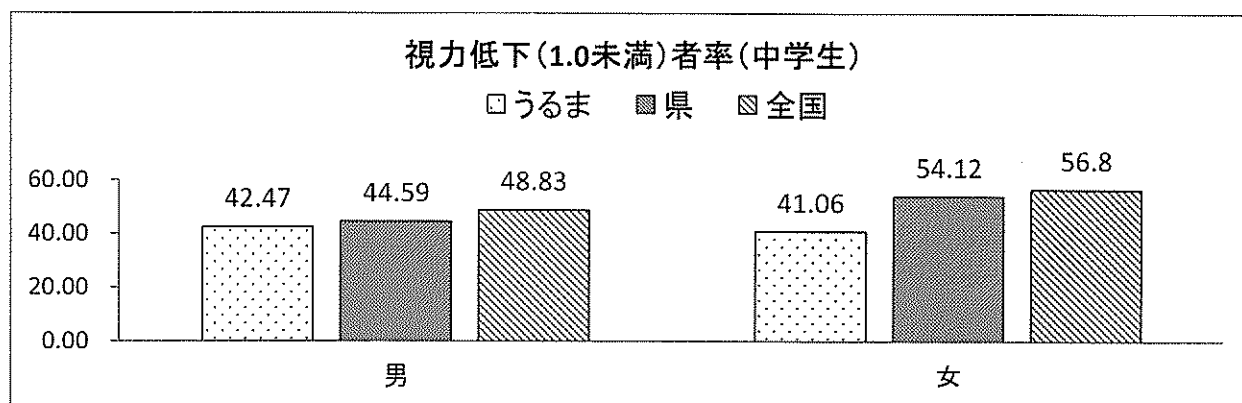
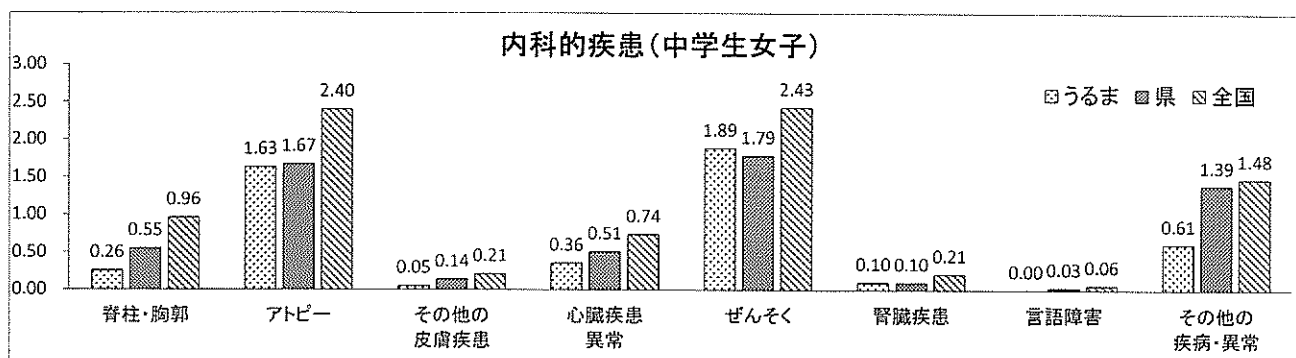
学校検診結果の内科的疾患において、小学生は男女ともにぜんそくやアトピー性皮膚炎が多く、視力検査では約3割の児童に視力低下がみられます。



イ中学生

学校検診結果の内科的疾患において、中学生においても男女ともにぜんそくやアトピー性皮膚炎が多く、視力検査では約4割の児童に視力低下がみられます。

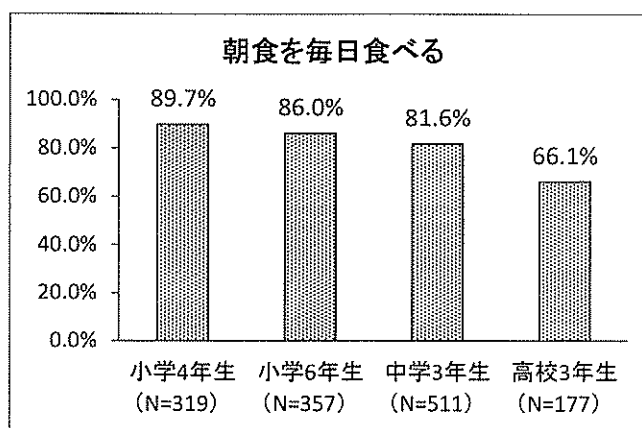




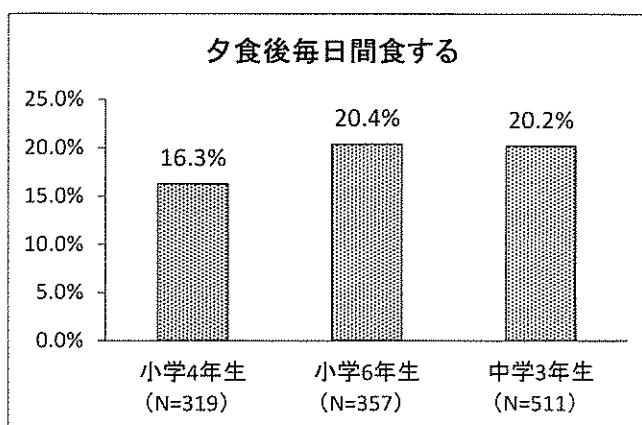
2) 保健行動(本人や周りの人の取り組み)状況

①食・栄養に関する状況(アンケート調査)

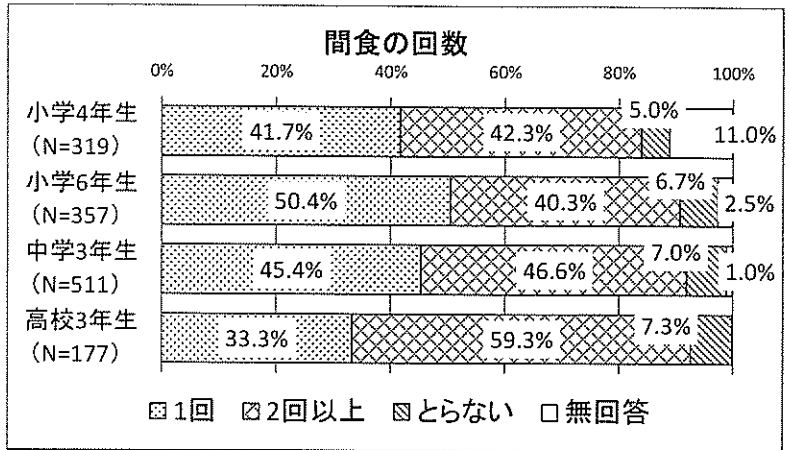
朝食を毎日食べる割合は小学4年生で89.7%、6年生で86.0%、中学3年生で81.6%、高校3年生で66.1%となっており、年齢が高くなるにつれて、朝食欠食の割合が高くなっています。



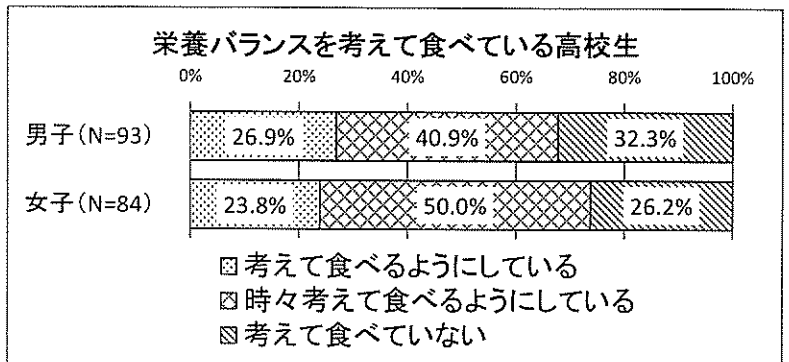
夕食後に毎日間食する割合は、小学4年生で16.3%、6年生で20.4%、中学3年生で20.2%となっています。



間食の回数では、2回以上が小学4年生で42.3%、小学6年生で40.3%、中学3年生で46.6%、高校3年生で59.3%と年齢が高くなるにつれて割合が高くなっています。

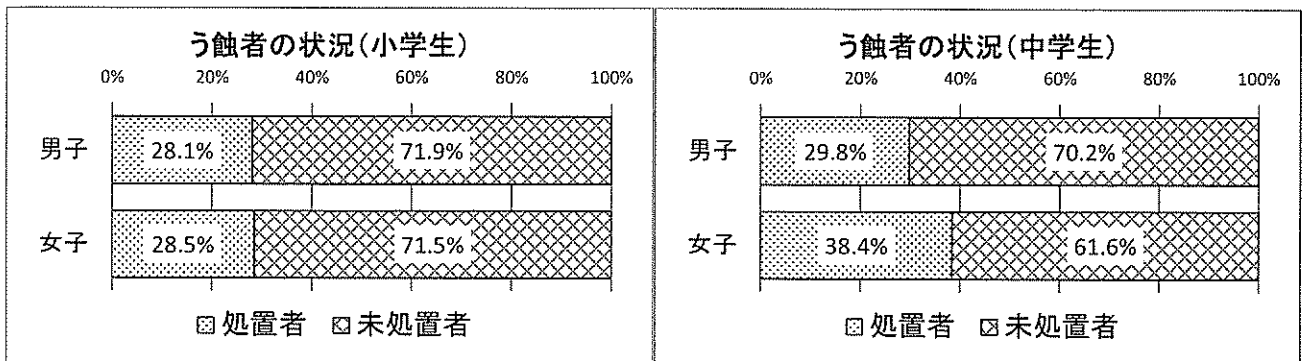


毎日栄養バランスを考えて食べている高校生は男子26.9%、女子23.8%となっています。

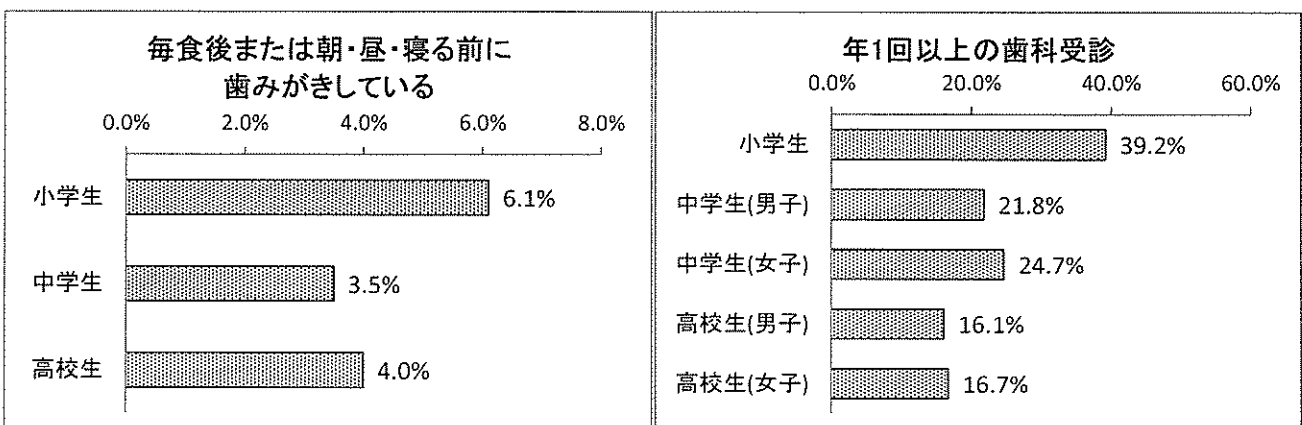


②歯に関する状況

う蝕者のうち未処置者が小学校男子71.9%、女子71.5%、中学校男子70.2%、女子61.6%となっている。



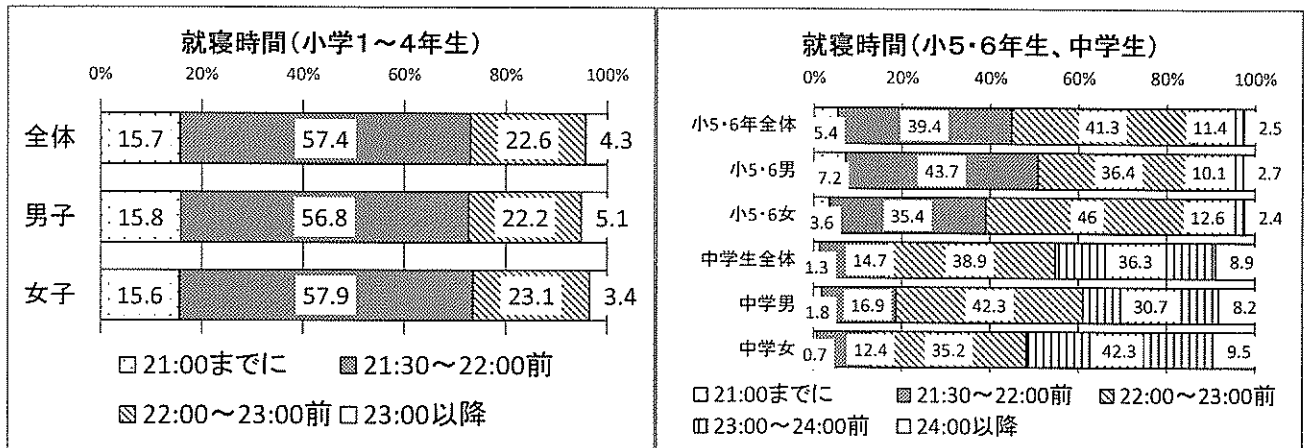
毎食後の歯みがきは小学生で6.1%、中学生で3.5%、高校生で4.0%となっています。年1回以上の歯科受診は小学生全体で39.2%、中学生男子21.8%、女子24.7%、高校生男子16.1%、女子16.7%となっており、年齢が高くなるにつれ減少しています。



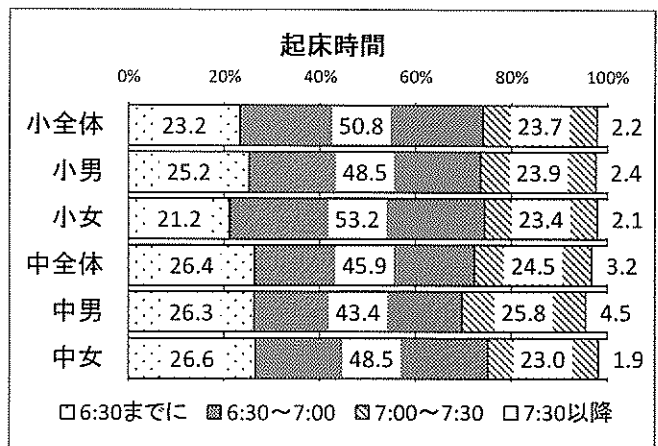
③生活リズム・運動に関する状況 (H22 基本生活習慣調査)

小学1～4年生の就寝時間が22時～23時前22.6%、23時以降が4.3%であり、小学5～6年生は、22時～23時前41.3%、23時～24時前11.4%、24時以降2.5%となっており、高学年になるにつれて就寝が遅くなっています。

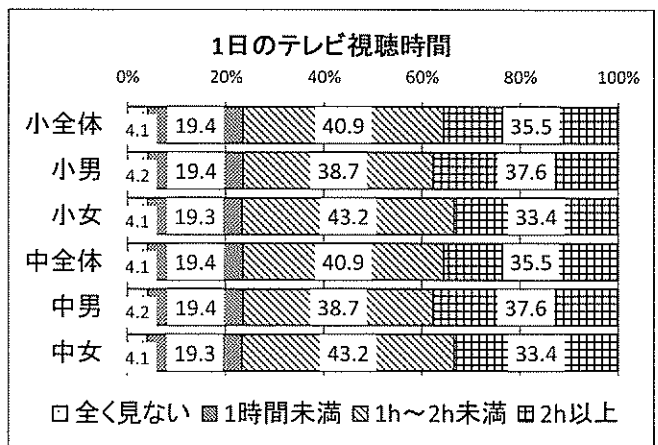
中学生では、23時～24時前36.3%、24時以降8.9%となっており、特に女子では23時以降の就寝が5割以上となっています。



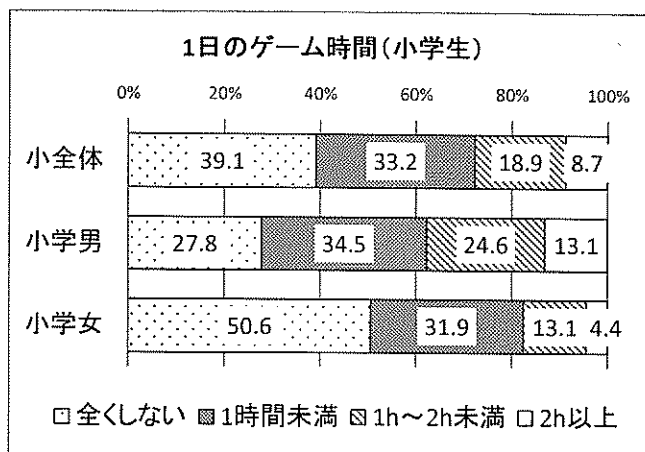
午前7時以降に起床する割合は、小学生25.9%、中学生27.7%となっています。



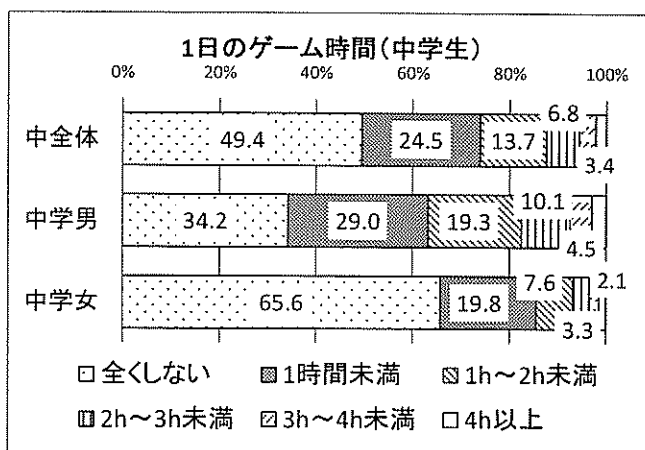
1日のテレビの視聴時間は、小学校、中学校ともに2時間以上の視聴が35.5%となっています。(H22年度新体力テスト)



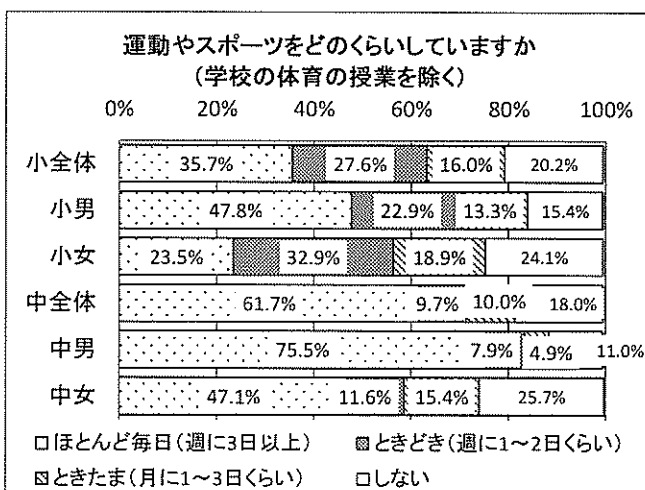
ゲームの時間をみると、小学生全体で2時間以上の利用が8.7%であり、特に男子は13.1%となっています。(平成22年度基本生活習慣調査)



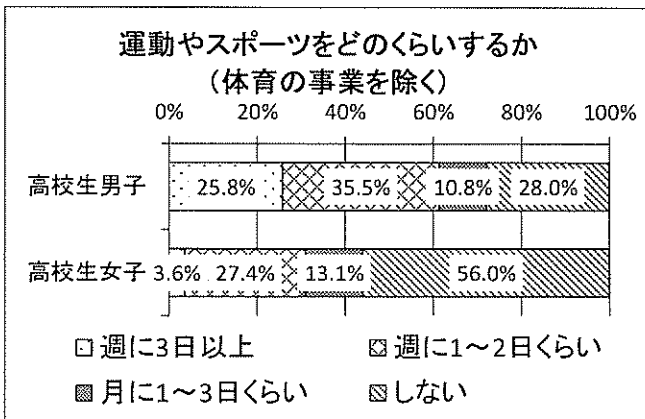
中学生のゲームの時間は2時間以上が10.2%となっており、中には4時間以上利用する生徒もいます。(平成22年度基本生活習慣調査)



運動・スポーツ実施日数(体育を除く)は、ときたま(月1~3日)以下が小学生男子で28.7%、小学生女子で43.0%、中学生男子で15.9%、中学生女子で41.1%と、女子の割合が高くなっています。

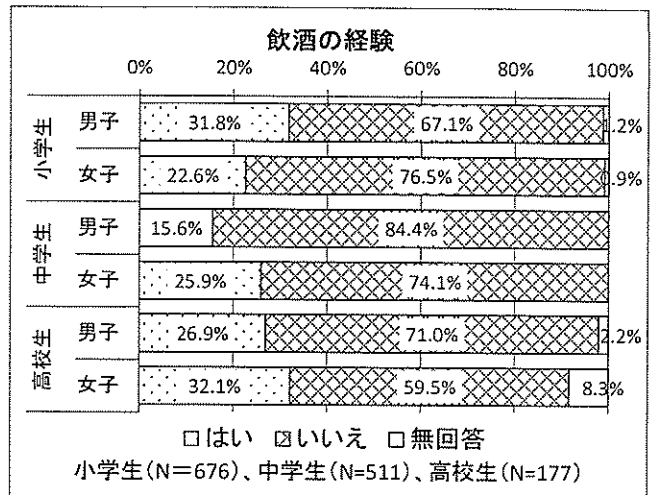


高校生の運動やスポーツ実施日数(体育を除く)は、月に1~3日以下の割合が男子高校生で38.8%、女子で69.1%となっています。(アンケート調査)

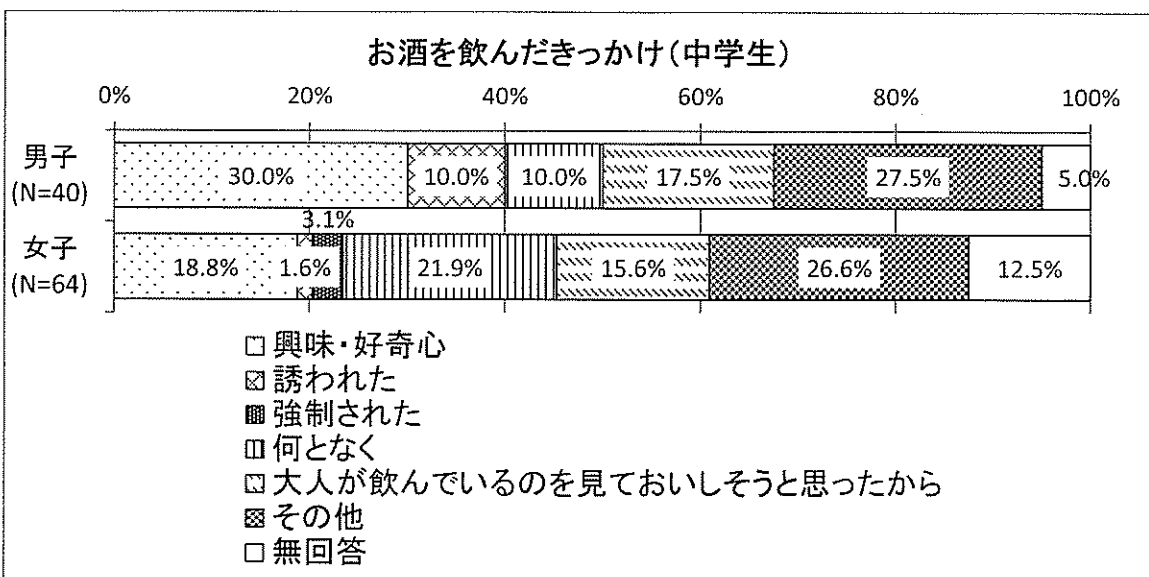
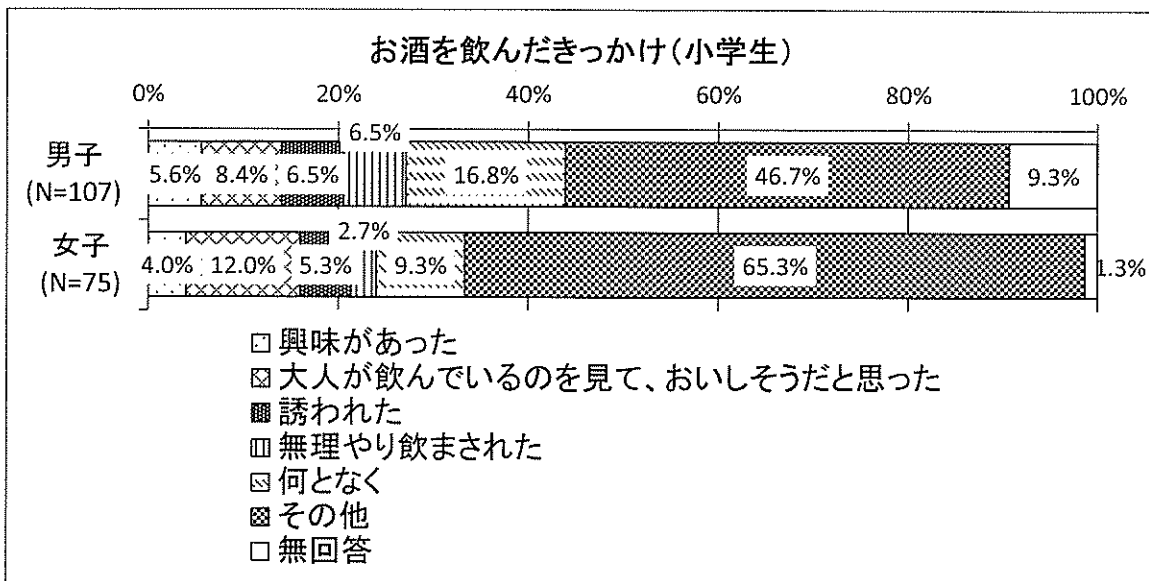


④酒・タバコに関する状況

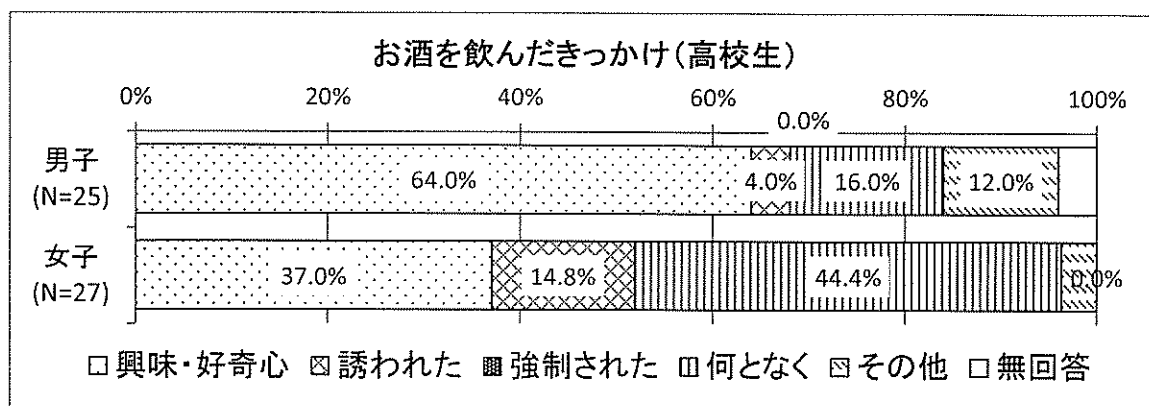
飲酒経験のある小学生男子は31.8%、小学生女子は22.6%、中学生男子は15.6%、中学生女子は25.9%、高校生男子は26.9%、高校生女子は32.1%が飲酒を経験しています。
(アンケート調査)



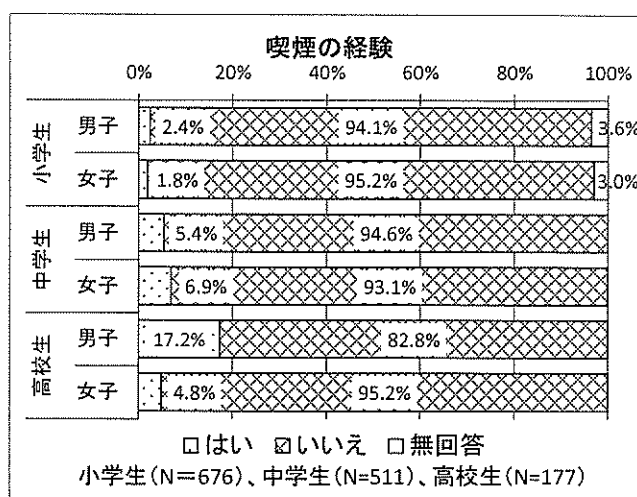
酒を飲んだきっかけは、男子小学生では「誘われた」が46.7%、女子は65.3%と高くなっています。中学生の男子では「興味・好奇心」が3割、女子は「興味・好奇心」「何となく」がともに2割程度になっています。(アンケート調査より)



お酒を飲んだきっかけは、高校生男子では「興味・好奇心」(64.0%)、高校生女子では「何となく」(44.4%)が最も高くなっています。



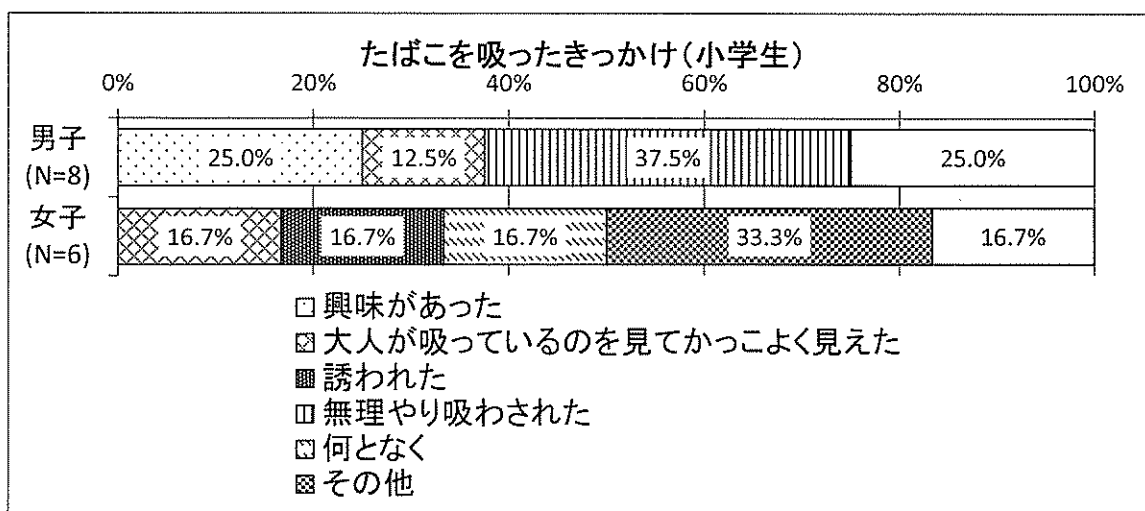
喫煙の経験のある男子小学生は2.4%、女子小学生は1.8%、中学生男子は5.4%、中学生女子は6.9%、高校生男子は17.2%、高校生女子は4.8%となっています。(アンケート調査)

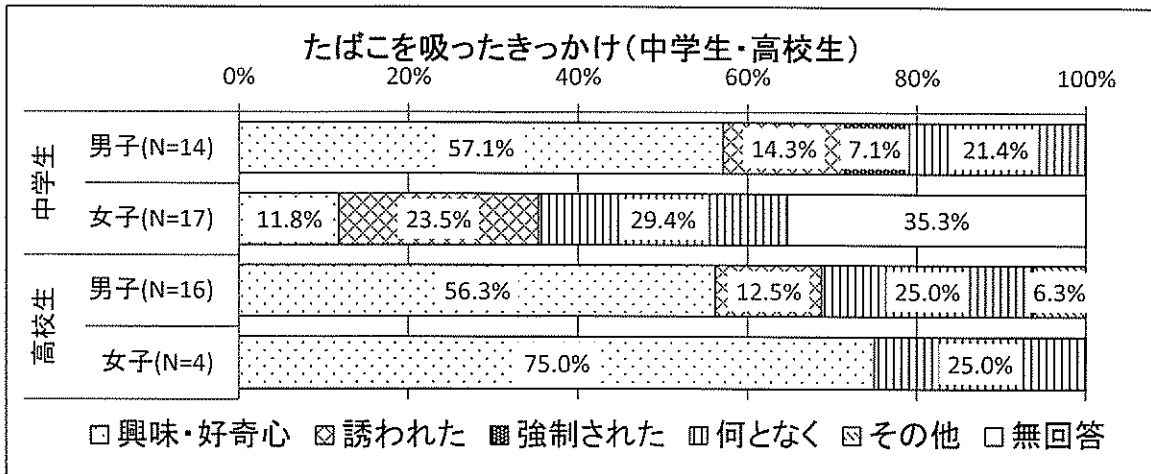


たばこを吸ったきっかけは、小学生男子は、「無理やり吸わされた」(37.5%)、小学生女子は、「その他」(33.3%)と最も高くなっています。

中学生男子は「興味・好奇心」(57.1%)、中学生女子は「何となく」(29.4%)が最も高くなっています。

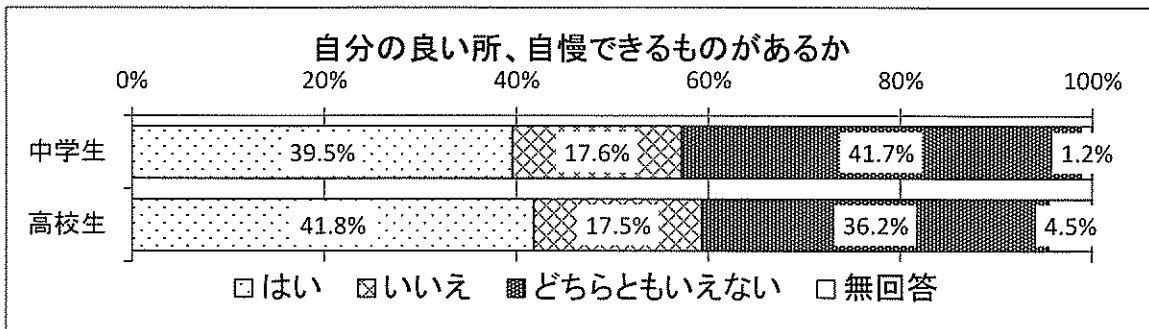
高校生は、男女とも「興味・好奇心」が最も高くなっています。(アンケート調査)



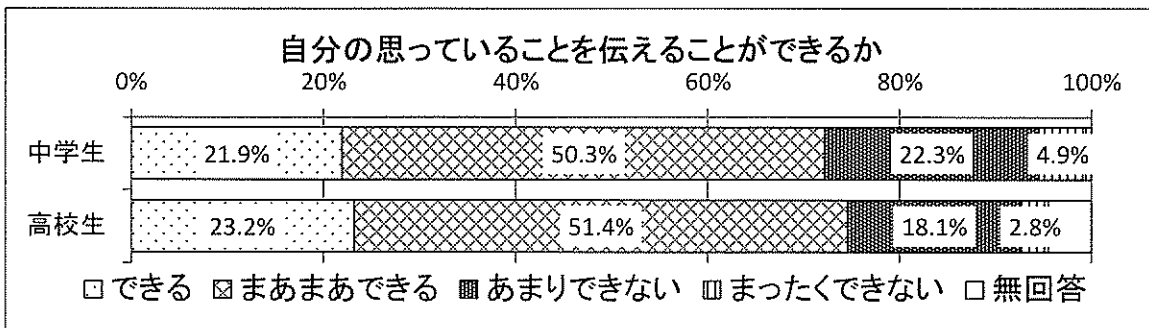


⑤ゆとり(豊かなころ)に関する状況

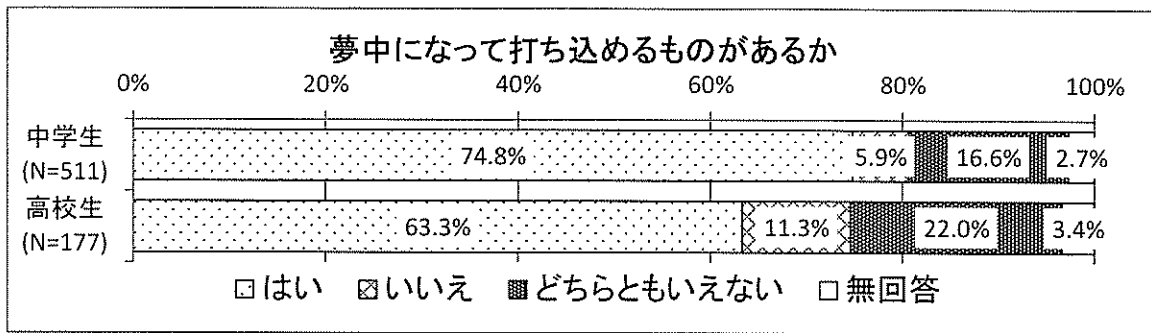
「自分の良いところ、自慢ができるものがある」と答えた中学生は 39.5%で、高校生は 41.8%となっています。「自慢できるものがない」と答えた中学生は 17.6%、高校生は 17.5%となっています。(アンケート調査)



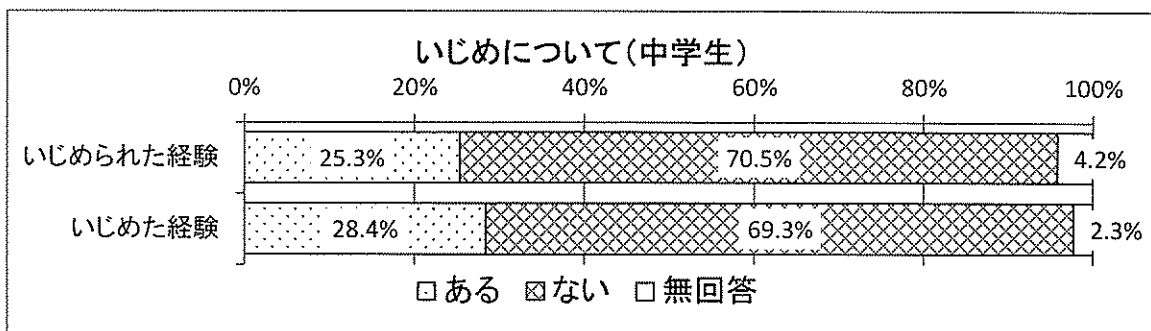
「自分の思っていることを伝えることがまったくできない」と答えた中学生は 4.9%、高校生は 2.8%となっています。「あまりできない」と答えた中学生は 22.3%、高校生は 18.1%となっています。(アンケート調査)



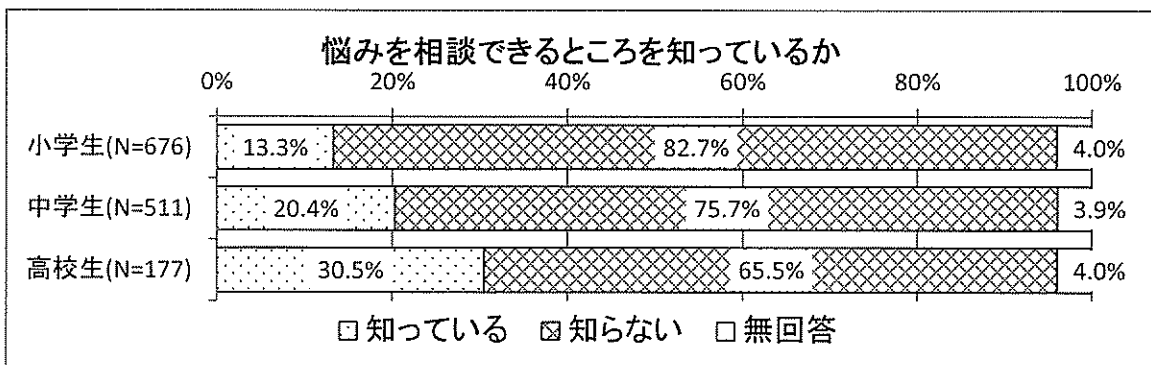
「夢中になって打ち込めるものがない」と答えたのは中学生で5.9%、高校生で11.3%となっています。(アンケート調査)



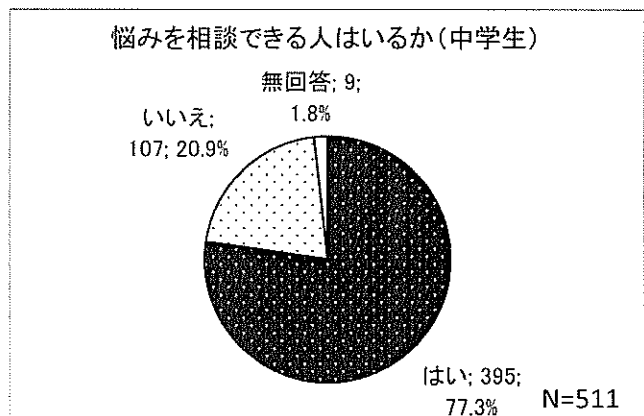
いじめられた経験がある中学生は25.3%、逆にいじめた経験がある中学生は28.4%となっています。(平成21年次世代育成支援行動計画ニーズ調査)



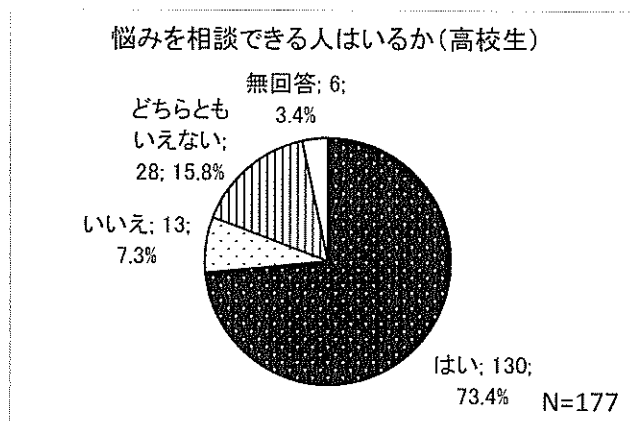
「悩みを相談できる場所を知らない」と答えたのは、小学生で82.7%、中学生で75.7%、高校生で65.5%となっています。(アンケート調査)



中学生で悩みがある時に「相談できる人がいる」割合は、77.3%と高くなる一方で、相談ができる人がいない割合は20.9%みられます。(アンケート調査)

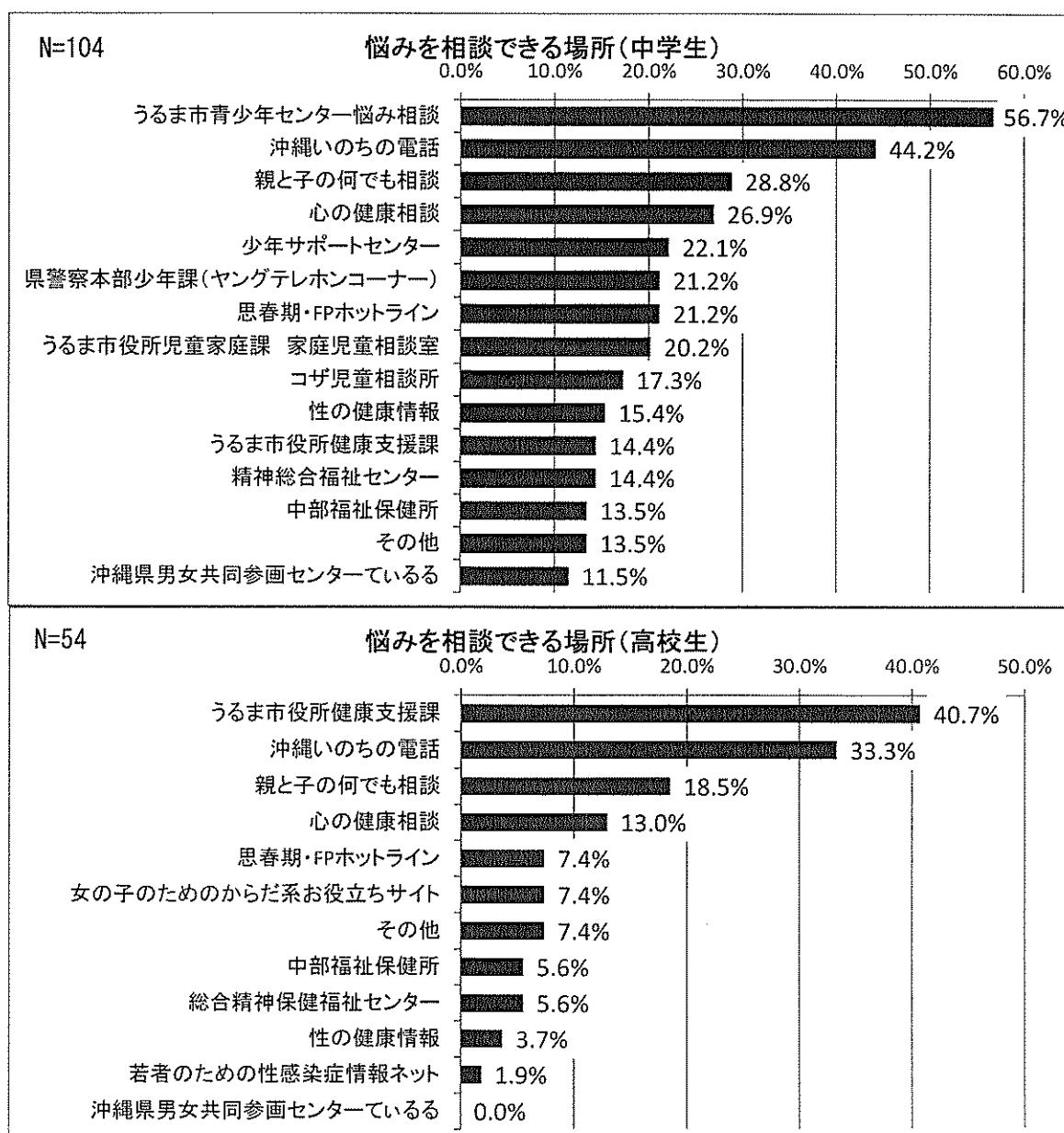


高校生で「相談できる人がいる」割合は73.4%、「相談できる人がいない」と答えた人は7.3%とみられます。(アンケート調査)



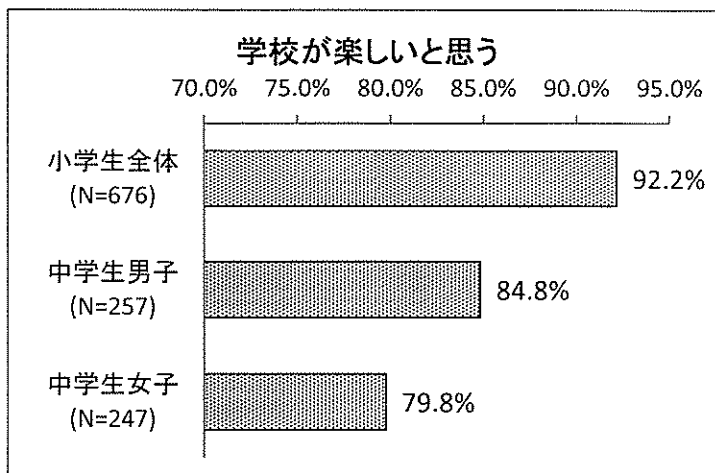
悩みを相談できる場所と知っているのは、中学生の第1位は「うるま市青少年センター悩み相談」で56.7%、第2位は「沖縄いのちの電話」で44.2%となっています。

高校生の第1位は「うるま市役所健康支援課」で40.7%、第2位は「沖縄いのちの電話」で33.3%となっています。(アンケート調査)

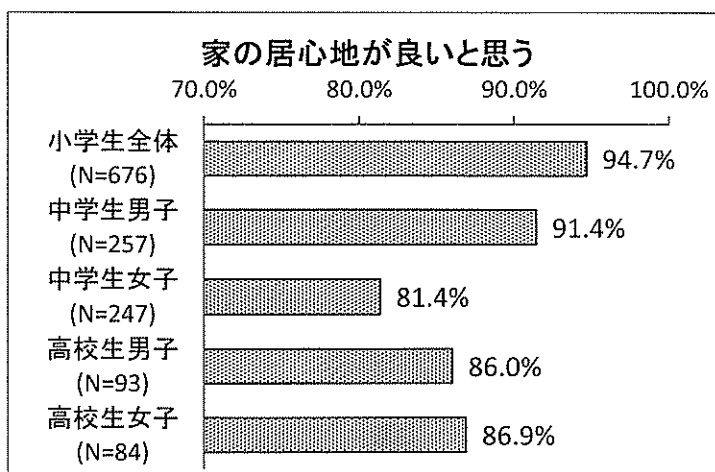


- ・小学校・中学校ともに不登校問題がみられます。
- ・不登校児の件数は小学校よりも中学校は5倍多くなっています。
- ・中学校における不登校生徒の件数は、平成17年度と比較すると平成20年度は2倍多くなっており、その後横ばいで推移しています。(教育委員会聞き取り調査)

学校が楽しいと思っている割合は、小学生全体で92.2%、中学生男子84.8%、女子で79.8%となっています。

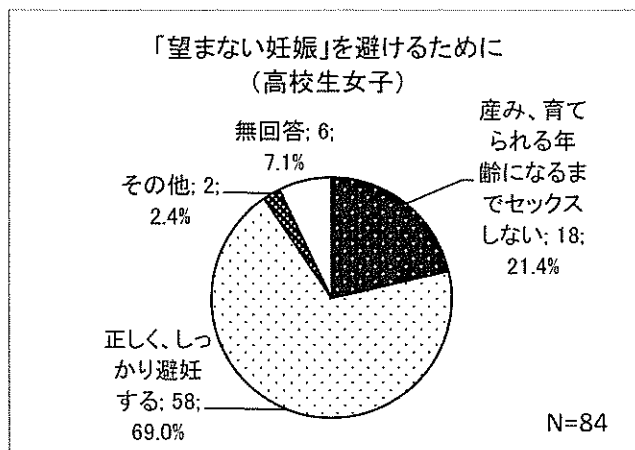
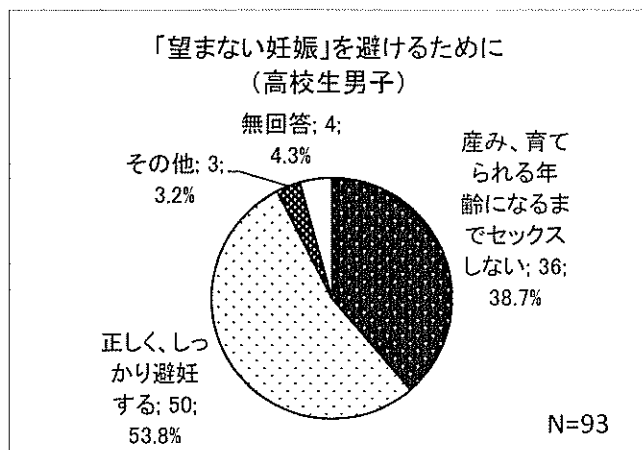


家の居心地が良いと思っている割合は、小学生全体で94.7%、中学生男子で91.4%、中学生女子で81.4%、高校生男子で86.0%、高校生女子で86.9%となっています。

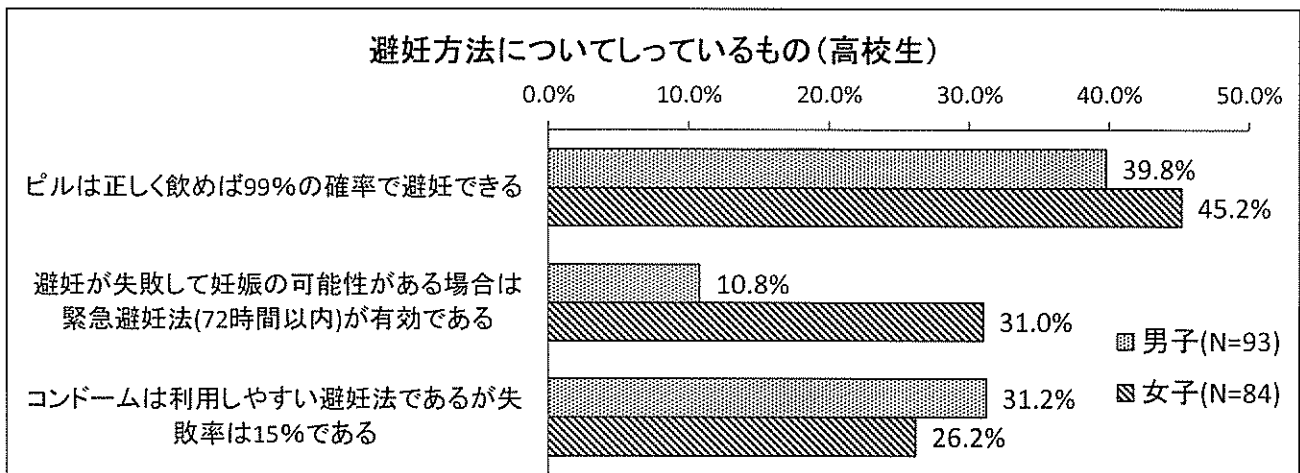


⑦健康管理に関する状況

望まない妊娠をさけるための考えとして、「産み、育てられる年齢になるまでセックスをしない」と答えた割合は、男子で38.7%、女子で21.4%となっています。(アンケート調査)



避妊方法で知っているものとして、ピルに対する回答は、男子で 39.8%、女子で 45.2% となっています。緊急避妊法に対する回答は、男子で 10.8%、女子で 31.0%、コンドームに対する回答は、男子で 31.2%、女子で 26.2% となっています。(アンケート調査)



平成 21 年度の全出生数に対する 10 代の母親の割合は、うるま市で 4.4%、中部保健所管内で 3.1%、沖縄県で 2.7%、全国で 1.4% となっており、うるま市が最も高くなっています。(平成 21 年度衛生統計年報)

